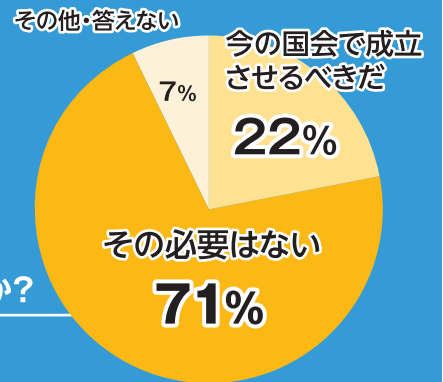


人の不幸を踏み台にする カジノはあかん!



カジノ実施法案を今の国会で成立させるべきか?

朝日新聞世論調査(4月14、15日実施)

カジノ実施法案の

とんでもない中身

カジノ業者が貸金業?!



「実施法」には、カジノ事業者の「貸金業務」を認め、2ヶ月は利息無し(延滞金は14.6%)。所持金を使い果たしても「お金を貸しますよ、負けを取り戻しませんか?」と甘いささやきが…、コワッ!

これで世界最高の「規制」?

24時間営業のカジノに7日間で3回(72時間)、年間120日も入り浸り可能な入場回数「制限」、1回6,000円の入場料でも飲み放題などのサービス付き。これが世界最高水準の規制?

カモは日本人



カジノ・IRで外国人観光客を増やすと言いながら、大阪府・市は「客の7~8割は日本人」と想定。カジノ業者のねらいはズバリ日本人のふところ。

カジノの面積はデパート並み!

夢洲でのカジノの面積はIR全体の3%の「規制」で78,000㎡でした。「阪急うめだ本店」の売り場面積は80,000㎡だからデパート丸ごとがカジノのイメージ。しかし、これでも小さいと米国のカジノ業者の圧力がかり…。

ギャンブル依存症を増やせ!?



ギャンブル依存症対策としてのカジノの「3%の面積規制」が、米国のカジノ業者の圧力で「実施法案」から削除されています。ギャンブル依存症が増えるほどカジノ業者は儲かるからです。

維新はカジノ依存症!?



橋下徹氏 とんでも発言

「ギャンブルを遠ざける故、坊ちゃんの国になった。小さい頃からギャンブルをしっかり積み重ね、全国民を勝負師にするためにも、カジノ法案を通してください」
(カジノ議連の議員を前に2010年10月28日)

松井知事 カジノ企業を代弁

過度な面積規制はカジノ企業の投資意欲の減退につながるから面積規制は「する必要は全くない」。入場時の身分証明には「運転免許証で良い」。入場回数の上限は「子供じゃない。無理やり縛る必要はない」。

(2月22日、産経新聞より)